



臭い・水汚れに強いPPフィルム加工

消臭＋汚れ防止

汚れに強い

耐薬品性がある

消臭効果がある

おすすめの使用場所

- 水汚れや臭いが気になる洗面廻り・トイレ
- 飲食物の汚れや臭いが気になるLDK・飲食店舗
- 消毒用の薬品などを使う医療・福祉施設

1 汚れを防いで、お掃除らくらく

- 壁紙の表面に消臭剤入りのPP (ポリプロピレン) フィルムをラミネートしています。
- PPフィルムは水汚れに特に強い特長がありますので、洗面・水廻りに最適です。

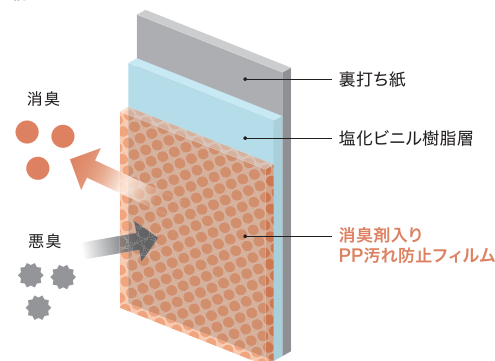
2 生活悪臭を消臭

- トイレ、生ゴミ、ペット、タバコなど様々な悪臭を消臭します。
- シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒドの低減に効果があります。

3 抗菌効果で清潔・快適

- 壁紙表面のPPフィルムは抗菌効果に優れているため、清潔な環境づくりに最適です。

■ 壁紙の構造 (イメージ図)



SIAA
ISO 22196
抗菌加工

無機抗菌剤・練込
表面層
JP0122834X0001C

SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

■ 耐汚染性・耐薬品性

消臭＋汚れ防止壁紙は、耐汚染性はもちろん、耐薬品性にも優れています。一般ビニル壁紙には様々なタイプがあり性能が安定しませんが、汚れ防止は表面にフィルム層があるため、汚れや薬品が染み込みにくく、バラツキのない安定した品質を保ちます。

壁紙工業会制定「汚れ防止壁紙性能規定(4級以上)」に適合しています。

「汚れ防止壁紙性能規定」
汚染物を付着させ、24時間後、拭き取ったものを目視で判定。4級以上を「汚れ防止」とする。

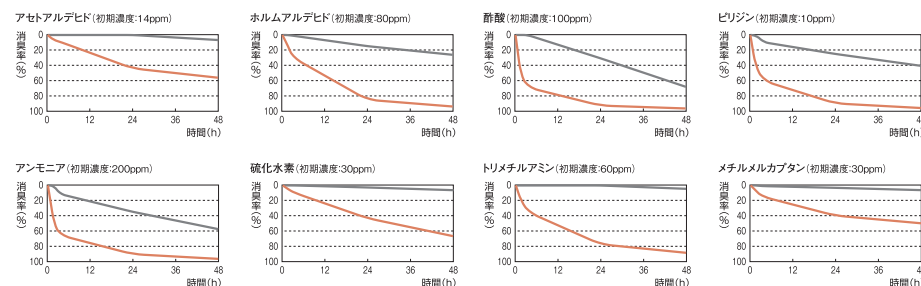
汚染物質	拭き取り剤	スーパー強化 + 汚れ防止 (エパール®フィルム)	消臭＋汚れ防止 (PPフィルム)	タフクリーン (クリーンコート)	撥水 トップコート	一般ビニル壁紙
コーヒー	水	◎	◎	◎～○	△	△～×
しょうゆ	水	◎	◎	◎～○	○	△～×
水性ペン	中性洗剤	○	◎	◎～○	○	△～×
クレヨン	中性洗剤	◎	○	○～△	△	×
油性ボールペン	アルコール	○	○	×	×	×
油性マジック	アルコール	○	○	×	×	×
血液	アルコール	◎	◎	-	-	×

薬品名	消臭＋汚れ防止 (PPフィルム)	一般ビニル壁紙
次亜塩素酸ナトリウム(6%)	◎	◎～○
エタノール(95vol%)	◎	◎～○
過酸化水素水(3.5w/v%)	◎	◎～○
塩化ベンザルコニウム液(10%)	◎	◎～○
クレゾール石鹼液(3%)	◎	○～△

【試験方法】
耐汚染性…壁紙工業会「汚れ防止壁紙性能規定」に準拠。汚染物質は規定4物質に「血液」「油性ボールペン」「油性マジック」を追加。
耐薬品性…JIS K 6902Bに準拠。薬品は任意選定。

【判定基準】
◎: 汚れが残らない
○: ほとんど汚れが残らない
△: やや汚れが残る
×: かなり汚れが残る
××: 汚れが濃く残る

■ 消臭性能



【試験方法】
壁紙サンプルを容器に入れ、悪臭成分を注入。所定時間後、悪臭ガス成分の残存ガス濃度を測定。比較対象として、サンプルを入れず空(グラフ中では空ブラックと表示)で悪臭成分を測定。
※データは実測値であり、保証値ではありません。

■ 使用上のご注意

- ・ フィルムラミネート品のため、一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。
- ・ 汚れ防止フィルムによるツヤがありますので、天井への使用は光の加減で下地が目立ちやすく、不向きです。
- ・ 汚れ防止は、汚れが浸透しにくく落としやすい機能であり、汚れが付かない機能ではありません。汚れの種類や放置時間によっては除去できない場合があります。

- ・ 消臭機能は臭いを完全になくすことを保証するものではありません。効果は環境によって異なりますが、5～10年間程度とお考えください。美観維持のためにも5～10年位での貼替えをおすすめします。（消臭機能は、「エアリフレ」タイプとは異なります。）

■ 施工上のご注意

壁紙表面に、ポリプロピレン製の汚れ防止フィルムをラミネートした商品です。一般ビニル壁紙に比べやや硬くカールしやすい傾向があり、寒冷時には出入隅部の収まりが悪くなる場合があります。フィルムによるツヤがありますので、光の加減で下地が見えやすくなる天井には不向きです。あらかじめご了承ください。

●低温時は室内を暖めて

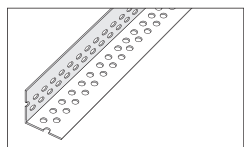
5℃以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、壁紙自体も硬くなりますので、施工効率下がります。できるだけ室内を暖めて、壁紙を馴染ませ柔らかくしてから施工してください。

●モルタル下地にはシーラー処理を

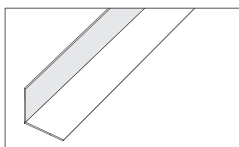
アクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理を行ってください。特に低温時にはフクレがおきやすくなりますのでご注意ください。

●下地コーナー材は穴あきタイプを

下地コーナー材は、穴あきタイプが有効です。穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、カビ発生の原因となる場合があります。ただし、穴あきタイプをご使用の場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやカビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



一般的なコーナー材

●貼り付け時のカール癖

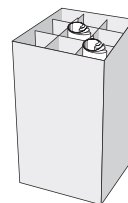
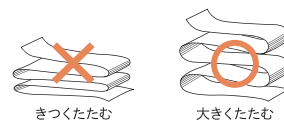
一般ビニル壁紙に比べやや硬くカール癖がつきやすい傾向があります。特に巻き芯に近い部分や寒冷時には、材料を逆巻きにするなどカール癖をとってから施工してください。収まりが悪い場合は、ジョイント部や出入隅部にエチレン酢ビ系ボンドを原液で捨て糊するなどの処置を施してください。

●接着剤とオープンタイム

接着剤は、濃い目(6～7割希釈)のものにエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。接着剤塗布後はうませ時間を20～30分程度とってください。寒冷時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとってください。

●糊付け後のたたみ方、養生時のポイント

接着剤塗布後は大きくたたみ、上積みを避けてください。フィルムが折れてたたみジワが発生する場合があります。



専用ボックスは、折れジワ防止だけでなく、運搬にも有効です。

●なで付け注意

特に、モルタル下地ではプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返しエア抜きを行ってください。

●糊の拭き残し

施工後は接着剤の拭き残しがないよう、きれいに拭き取ってください。拭き取りが不十分な場合、変色の原因になることがあります。なお、拭き取る際は、きれいな水に頻繁に替えながら濡れスポンジなどでていねいに拭き取り、更にきれいなタオルなどで拭き取ってください。

特に注意が必要な商品の施工要領です。
一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。あらかじめご了承ください。
一般的な壁紙の施工方法や、壁紙全般に共通する基本的な注意点は各見本帳の巻末資料にある「取扱上のご注意」をご参照ください。